

「君が来た時よりも、いい状態にして、コースから立ち去れ」

副理事長

フェローシップ・エチケット委員長

松山 久秋

この4月から当クラブの副理事長を拝命しました。フェローシップ・エチケット委員長は留任となりましたので、共々よろしくお願いいたします。

●良いゴルフクラブとは

副理事長への就任にあたり、良いゴルフクラブとは何かを考えてみました。表題の「君が来た時よりも、いい状態にして、コースから立ち去れ」が、会員に浸透しているようなクラブは良いクラブに違いないと思います。USPGAのThe Unwritten Rules of Golfには、次のように記されています。”Leave the course like you found it (or better)” 具体的にはディボット跡を埋め、ボールマークを直し、バンカーをならす等のことですが、このUSPGAのサイトでは、自分のボールマークと更にもう一つボールマークを直すことを勧めています。これが、当クラブで、会員にどのくらい実践されているか？まだまだ、不十分だと言わざるを得ません。自分が削ったディボット跡は自分で目土をしないと落ち着かない、気持ちが悪いと感じるほどになれば良いなと思っています。

●どんなコースが良いコースか

答えは簡単ではありません。なぜなら、プレーヤーによってコースに求めるものが異なるからです。競技志向の人は戦略的で難しいコースが良いと言うでしょう。逆に、良いスコアが出やすいコースが良いという

人もいます。中には、スコアよりも、手の行き届いた、自然の美しさや景色を楽しみたいという人もいます。

このように、会員がコースに求めるものは多様なので、答えを一つに絞ることはできませんが、一つだけ私見を言わせていただくなれば、大きな木を残して、木の本数を減らした方が良いのではないかと考えています。ゴルフ場の類型としては、当クラブは「パークランド・コース」ですが、米国の古くからある「パークランド・コース」では、概して、木が大きくて、本数は少ないです。その方が攻め方の戦略性が増すし、維持費も抑えられるのではないかと考えています。

●当クラブは何を目指すのか

ご存知のように、当クラブは「楽しくかつ快適にプレーでき、プレーヤー満足度の高いゴルフクラブを目指す」とし、次のような点について、指針を示しています。クラブと会社の関係、エチケットとマナー、コースの設備・維持、社員その他従業員、地元との関係、ゴルフの普及および発展。

この「目指すもの」を机の引き出しにしまっておくのはもったいない。常にテーブルの上に出して、会員間で意見を出し合い、各委員会や理事会で具体的に進めていくことが大事だと思っています。